



南大江小学校



- 所在地 中央区農人橋1丁目3番3号
- 電話番号 06-6942-0501
- FAX 06-6941-0397
- 校長名 植田 隆義
- 標準服 有(男・女、夏服・冬服) ■ 集団登校 無
- HPアドレス <http://swa.city-osaka.ed.jp/swas/index.php?id=e551121>



学校の概要

本校は、東大組第5区小学校(1872年創立 明治5年)・東大組第4区小学校(1873年創立)・東大組第2区小学校(1873年創立)・東大組第3区小学校(1874年創立)の4校が合併し、1885年(明治18年)に南大江小学校と改称され、2022年(令和4年)で創立150周年を迎える歴史と伝統ある小学校です。学校は、子どもたちにとって安全に楽しく生活する場でなければなりません。また、社会が多様化し激しく変化の中で、国際化の進展や未曾有の災害の発生等に立ち向かう「生き抜く力」を備えるとともに、「確かな学力」と「豊かな心」をしっかりと身につけることが大切です。本校では、これまでに培ってきた教育を基軸にしながら、2030年以降の社会を力強く生き抜く人材育成に努めるとともに、この伝統ある南大江の地域を愛し、誇りに思う心の醸成に取り組んでいます。児童増により現在新校舎を建築中です。

令和元年度 全国学力・学習状況調査の結果

南大江小	国語	算数
平均正答率(%)	61	73

※令和2年度は新型コロナウイルス感染症による臨時休業の影響等のため実施しておりません

【概要】

教科に関する調査において、算数は全国平均を大きく上回っています。しかしながら、国語は全国平均を下回りました。算数においては、正常分布を示しており、二極化はみられておりませんが、国語においては、前回調査同様に、二極化が顕著にみられます。

児童質問紙調査からも、家庭学習の時間について、「3時間以上」と答える児童が全国平均より10%多く、「全くしない」「30分より少ない」と答える児童が全国平均より10%多くなっています。このように学習に取り組む意識や態度にも二極化が顕著になっています。

【成果と課題、アクションプラン】

算数科を中心に、問題解決型学習の中で、意図的に「書く」「話す」ことを組み込み言語活動の充実を図ってきました。その結果、児童の思考力・判断力・表現力の向上につながっています。今後も、各教科・特別活動において、このことを生かした取り組みを推進していきます。

一方で学習に対して意欲をなくしたり、理解や定着に時間が要したりする児童も見られます。個々の児童に適した指導が必要であり、補充学習や補充教材等を学校全体で取り組んでいます。自分で計画を立てて、自主的に学びを進めていく気持ちを育てていきます。基本的な生活習慣は改善されてきたので、家庭での学習習慣についても、保護者とともに考えるようにしていきたいと思っております。

令和元年度 全国体力・運動能力、運動習慣等調査の結果

	握力	上体おこし	長座体前屈	反復横跳び	20mSR
男子	15.28	23.74	33.17	38.89	50.04
女子	15.95	23.07	35.57	37.35	41.61

	50m走	立幅跳び	ボール投げ	体力合計点
男子	9.12	136.48	22.84	54.28
女子	9.37	131.28	13.07	55.24

※令和2年度は新型コロナウイルス感染症による臨時休業の影響等のため実施しておりません

【概要】

○体力・運動能力に関して、全国平均と比較すると、男子は8種目中3種目で上回り、女子は8種目中3種目で上回りました。体力合計点では、男子では全国平均を0.7ポイント、大阪市平均より約1.8ポイント上回っています。女子では全国平均を約0.4ポイント下回り、大阪市平均を約0.8ポイント上回りました。

○児童の運動に対する意識を見ると、「運動が好き・やや好き」と答える児童の割合は、女子で全国平均よりも低い値となっています。しかしながら、「学校の体育の授業以外で、運動(体を動かす遊びをふくむ)やスポーツを合計で1日およそどのくらいの時間体を動かしているか。」の質問に対しては、男女とも全国平均より長い時間体を動かしているようです。放課後の運動場の開放、校内の多数の公園の利用、地域・こども会のスポーツクラブ等の恵まれた環境などが要因として考えられます。

運営に関する計画

【子どもが安心して成長できる安全な社会(学校園・家庭・地域)の実現】

- ・ いじめ・問題行動等の対応すべき事象について適切に対応する。
- ・ 規則の順守に努める。
- ・ 道徳の時間をはじめ、全教育活動(多様な体験活動を含む)を通して、人(相手)を思いやる心を培う指導に努める。

【心豊かに力強く生き抜き未来を切り拓くための学力・体力の向上】

- ・ 算数科を中心に、算数の学習をよくわかるという児童を増加するように、学びの場を工夫したり、学ぶ機会を創設したりする。
- ・ 適切な睡眠時間を確保すること、朝食をとることの大切さを知らせ、より良い生活習慣を身につけるようにする。
- ・ 日常的にすすんで体を動かす機会を増やして体力づくりに取り組む。

【子どもの言語活動を充実させる学校づくり】

- ・ 学年の発達段階に応じた話し合い活動を取り入れた授業を行う。
- ・ 子どもの言語活動を充実させる学校行事を企画し、実施を図る。
- ・ たてわり班活動を行うことで、全校児童のつながりを深める。
- ・ 幼稚園・保育所との交流を学校全体にまで広げることで、保幼小の接続意識した活動を行う。

Osaka Metro 谷町四丁目駅⑧出口 南西 350m
谷町六丁目駅②出口 北西 600m
松屋町駅⑤出口 北東 600m



たくましい子・すすんで学ぶ子・友だちを大切にする子

1年生の様子

春にはアサガオの種をまいたりや秋にはチューリップの球根をうえたりしながら大切に育てています。

また、2020年度は、感染症対策をしながら、11月に大阪城公園に、歩いて遠足に行きました。秋の深まりを感じながら、たのしくお弁当を食べました。



異学年との交流

2020年度は、異学年交流があまりできませんでした。1年生は、2年生と校内たんけんをしたり、リモートで児童集会をしたりしました。新1年生のために、紹介動画もつくりました。

タブレットの学習

1年生からタブレットを使った簡単なICT学習にも取り組んでいます。「ビスケット(ソフト)」を使ったプログラミングにも挑戦します。



放課後学習

学習の定着を目指し、放課後に個別の学習時間(補充学習)を設定しています。課題が終わっていなかったり、習熟ができていなかったりする児童が中心ですが、自主的に学習に取り組む児童も少しずつ増えてきています。